

# あさげ産！ 美白ダイコン

## あさげ産 開け新聞



→右の写真は道の駅に並んだ大根。ビニールが掛かったのが、あさげの里産。形の良いものが栽培出来るようになりました。

- 【六月の主な活動】**
- 1. 稲作事業
    - 除草剤散布
    - 畦畔の草刈り
    - けい酸加里散布
  - 2. 園芸事業
    - 【野菜栽培】
      - （播種）大豆、ロマネスコ、三期キュウリ
      - （定植）モロッコ、モロヘイヤ、大豆、二期ハウスキュウリ
      - （出荷）大根、プロッコリ、じゃがいも、キャベツ、ニンニク、ロマネスコ、ふぎ、ワラビ、一期キュウリ、インゲン
    - 【とうもろこし栽培】

### 稲作事業 <栽培管理>

田植えも終わり、六月は栽培管理の時期に入っています。圃場も三十一箇所あるため、水の管理、畦畔の草刈りがルーチンワークで、除草剤散布、月後半からは根張

- ・ 一期、二期追肥／消毒
- ・ 二期、二期草取り／籾殻撒き
- ・ 五期、定植
- ・ 圃場の草刈り
- 3. 葉草事業
  - ・ 畝の草取り
  - 4. 加工事業
    - ・ 味噌個包装／出荷
  - 5. その他
    - ・ 長野県経営者協会様来社



りや茎葉が硬くなり、倒伏に強くなる、けい酸加里を散布しました。

地域共生推進室 発行  
【45号】  
2024年7月6日発行  
ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！  
mail ;  
ta-hara@koaglobal.com

### 園芸事業 <野菜定植>

六月に入り、道の駅に野菜の出荷が始まりました。上記写真の大根から始まり、プロッコリ、茎プロッコリ、キャベツ、じゃがいも、玉ねぎ、インゲン、ニンニクなど多品種に亘ります。露地キュウリの出荷が始まりましたが、七月に入ると、キュウリ、ナス、ピーマン、トマト、ミニトマトの夏野菜の収穫、出荷が忙しくなります。



今年の露地キュウリは一期分だけで、二期、三期分はハウス栽培を考慮しています。露地キュウリの出荷時期は物量が増えることや、社員も家庭菜園での収穫もあり、定植時期をずらします。しかしハウス栽培は朝夕の灌水が大変ですので、灌水チューブを引き、ポンプを回せば自動灌水するようにします。



二期分としてキュウリ六十本を定植しました。



クラインガルデン管理棟管理棟上A-4の圃場よりじゃがいものキタアカリ、メークインを収穫しました。



良いサイズのじゃがいもがゴロゴロ収穫できました。この圃場は秋には第四棟となる、自前のビニールハウス建設に入ります。

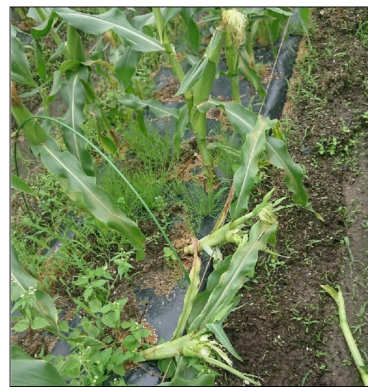


### トウモロコシ栽培

今年のトウモロコシは今のところ大雨も無く、順調で喜んでいました。



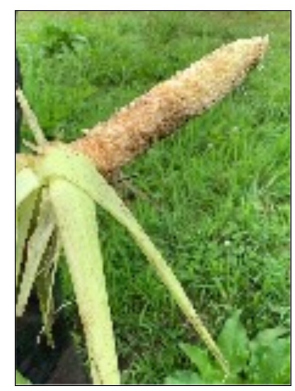
六月二十九日、収穫間近のトウモロコシ畑で害獣被害です。踏み倒したあとがあります。



被害の圃場は道の駅横で、民家も多いところでびっくりです。食い散らが点々とあります。



被害は二十本くらいで、収穫も近い事もあり、対策はせずに、また入ってもわかるように圃場内を綺麗にし様子を見ることにしました。



### 薬草事業 <センブリ>

今年播種したセンブリの草取りをしながら生育を確認したところ、ゼニゴケの発生や葉枯れ病も無く、今のところ順調です。



油断せず変化を監視していきます。



### その他 <経営者協会様来社>

六月六、七日に長野県経営者協会の皆様が来社されました。二日目にあさげの里に見えられ、活動報告のあと、薬細工と水引に別れて製作体験をされました。

